

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	映像コンテンツのナショナルアーカイブ化		事業開始年度	平成21年度	作成責任者	
担当部局庁	文化庁		担当課室	政策課	政策課長 大木 高仁	
会計区分	一般会計		上位政策	芸術文化の振興		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人国立美術館法 第3条		関係する計画、通知等	中期目標、中期計画、業務方法書		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立美術館における美術品及び映像資料等に関する情報の電子化等を行う事業に対して補助を行い、もって我が国の貴重な財産である美術品等の保存及び活用を推進することにより、我が国の文化芸術の振興を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東京国立近代美術館フィルムセンターにおいて、特に劣化が著しい歴史的価値を有する日本映画等の作品について、映像コンテンツの高質で安定的な保存によるアーカイブ化の推進を図る。					
実施状況	東京国立近代美術館フィルムセンターが所蔵する日本劇映画等のうちポジフィルムしか存在しない作品については、そのままでは質の劣化のおそれがあり、今後利活用するためには、万全の保存対策を講じる必要があることから、重要な作品で特に劣化の進んでいる作品について、ポジフィルムから画ネガ、音ネガを作成。 [作品数]332作品					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	1,050	—	—
	執行額	—	—	1,049		
	執行率	—	—	99.9%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	1,049		
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	○ネガフィルム作成の基素材となるポジフィルムの現状把握のため、事前に現地確認の実施。 ○納入された画ネガフィルム、音ネガフィルムの仕上がり確認・検査のため、これらから複製されたポジフィルムの検査を実施。 ○法人に設置されている契約監視委員会(監事及び外部有識者で構成。)による契約の点検・見直しにより、契約の適正性・公平性の確認及び改善方策等の検討を実施。				
	見直しの余地	○当該業務のうち、画ネガ等の作成については、一般競争入札を実施した結果、その技術の特殊性から1社応札となっているが、今後は公募等へ移行も踏まえ検討が必要である。 ○当該業務のうち、画ネガ等の購入については随意契約となっているが、当該著作物の著作権者からの購入以外の調達は不可能である。 ○当該事業は、21年度限り。				
予算・監視の効率化	本事業については平成21年度の緊急経済対策として補正予算で計上・実施された事業であり、平成21年度限りの事業である。					
補記						

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載）

文化庁
1,049百万円

〔独立行政法人国立美術館における美術品及び映像資料等に関する情報の電子化等を行う事業に対して補助を行う。〕



〔補助〕

〔A〕 独立行政法人国立美術館
1,049百万円

〔東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵の日本劇映画等のうち、特に劣化の進んでいる重要な作品について、映画（ネガ）フィルムの作成を行う。〕

〔一般競争入札〕

〔随意契約〕

〔一般競争入札〕

〔随意契約〕

〔B〕
（株）IMAGICA
ウエスト
・162百万円

〔C〕
民間会社
全6機関
・878百万円

〔D〕
三力工業（株）
・6百万円

〔E〕
民間会社
全7機関
・3百万円

事業概要
映画の保存基盤となる複製の安定供給と地球環境問題の同時解決を目的とした電子

映画（ネガ）フィルムの購入

映画フィルムの保管用缶の購入

黒味リーダー等映画フィルムの整理に必要な消耗品の購入

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)	A.独立行政法人国立美術館			E.東映ラボ・テック株		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	外部委託	映画フィルムの複製製造	162	物件費	映画フィルムの整理に必要な消耗品の代価	1
	物件費	映画フィルム、映画フィルム缶及びラベルなど消耗品の購入費	887			
	計		1,049	計		1
	B.(株)IMAGICAウエスト					
	費目	使途	金額 (百万円)			
	役務	映画フィルム(画ネガ、音ネガ)の複製製造業務	162			
	計		162			
	C.角川映画株					
費目	使途	金額 (百万円)				
物件費	映画(画ネガ、音ネガ)フィルムの代価	170				
計		170				
D.三力工業株						
費目	使途	金額 (百万円)				
物件費	映画フィルムの保管用缶の代価	6				
計		6				

「複数支出先ブロック」の支出先一覧

ブロックC:映画(ネガ)フィルムの購入

	支出先	支出額(百万円)
1	角川映画(株)	170
2	日活(株)	161
3	松竹(株)	155
4	東宝(株)	140
5	東映(株)	132
6	国際放映(株)	120
	合 計	878

「複数支出先ブロック」の支出先一覧

ブロックE:映画フィルムの整理に必要な消耗品の購入

	支出先	支出額(百万円)
1	東映ラボ・テック(株)	1
2	報映産業(株)	0.8
3	コダック(株)	0.4
4	(株)外為印刷	0.2
5	(株)ナックイメージテクノロジー	0.1
6	(株)東京ウチダシステム	0.0
7	(株)ジーベックス	0.0
	合 計	3

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。